

輝く!

紀の国の教育

第
48
号

和歌山県教育広報紙

Wakayama Prefecture Education Public Relations Paper

令和5(2023)年3月発行



超小型模擬人工衛星(缶サット)体験会

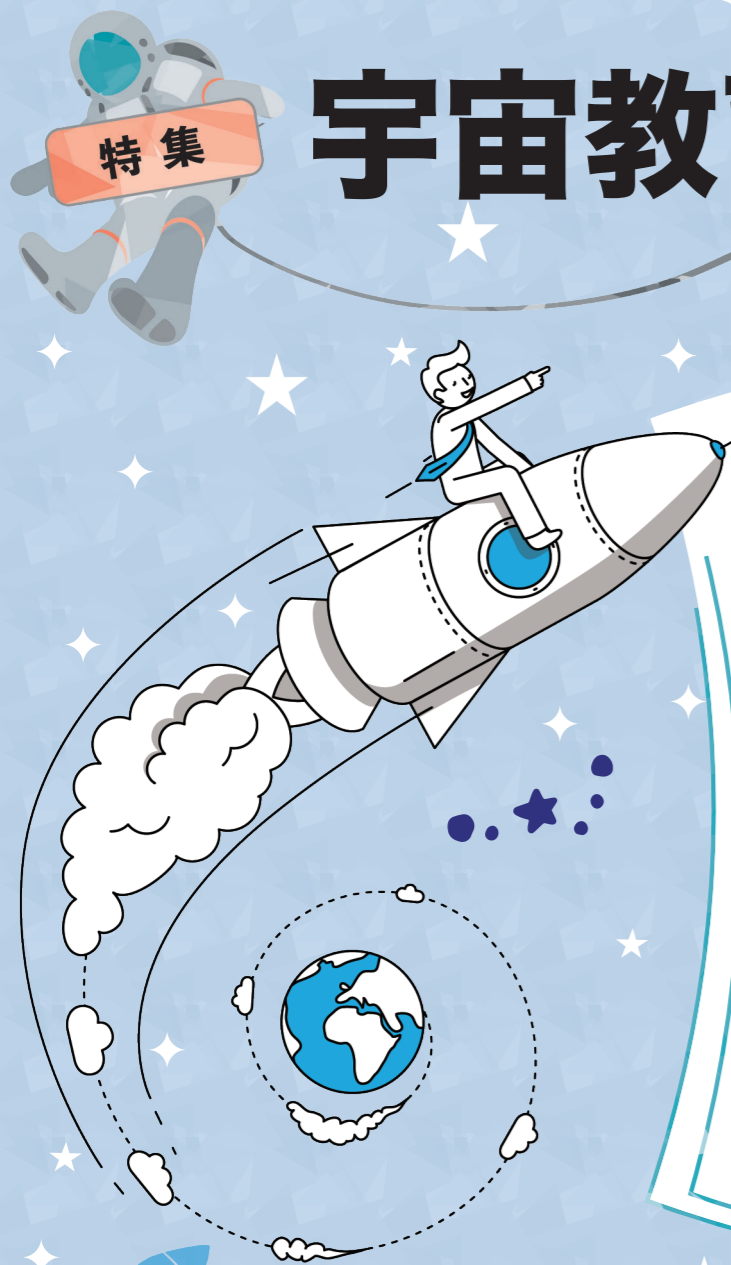
宇宙シンポジウム、宇宙講座の開催

特集
宇宙教育の
推進

目次

- P4 … 南紀はまゆう支援学校が開校します!
ワールドマスターズゲームズ2027関西の新会期について
- P5 … 展示・イベント
- P6 … きのくにコミュニティスクール(紀美野町)
- P7 … きのくに教育めぐり(広川町教育委員会)

宇宙教育の推進



平成31年3月に、本州最南端の町である本県の串本町が国内初の民間小型ロケット発射場の建設予定地として選定されました。現在、「スペースポート紀伊」と名付けられた発射場も完成し、打ち上げに向けた準備が着々と行われています。

こうした中、本県では、宇宙やロケットという教育効果の高い題材を用いて、科学や宇宙に対する子供たちの興味・関心を高める取組を行っています。さらに、令和6年度には、ロケット発射場に近接するという特性を最大限に生かし、串本古座高等学校に公立高等学校として全国初となる宇宙探究コースを開設します。また、このコースでは、宇宙に興味・関心をもつ生徒を県内外からも募集することとしています。



「超小型模擬人工衛星(缶サット)体験会」の開催

超小型模擬人工衛星(缶サット)の製作体験を通して人工衛星についての理解を深め、宇宙の魅力を知ることが目的として、県内の中学生を対象に開催しています。

7月23日に串本町で開催された体験会では、超小型衛星の分野を開拓した世界でも第一人者であり、内閣府宇宙政策委員会委員として日本の宇宙開発計画にも関わっておられる、東京大学大学院工学系研究科教授の中須賀真一先生を講師に招きました。

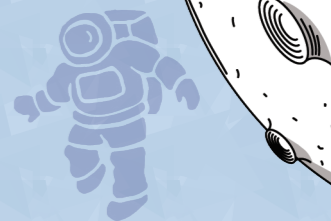


中学生がそれぞれチームに分かれ、空き缶を用いて缶サットの模型を制限時間内に作成し、パラシュートによる落下実験などを通して、決められたミッションをどれだけ達成できるかを競いました。設計について発表し、学び合う時間もあり、成功した喜びと、次へのバネになる悔しさも感じられるイベントになりました。

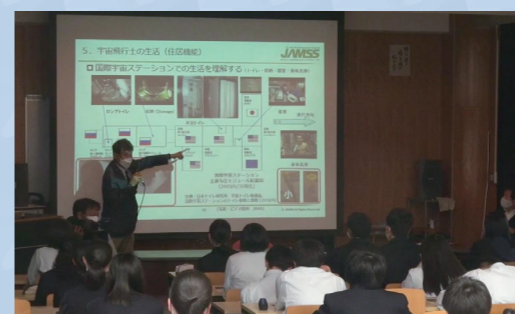


宇宙シンポジウムの開催

本県では、ロケットの打ち上げに向けて気運を高めていくために、毎年、串本町で宇宙シンポジウムを開催しています。令和4年に行われたシンポジウムでは、串本古座高等学校の生徒が全面的に運営に参加し、受付や司会、発表の他、会場設営やオンラインの視聴者数調査など、様々な分野で活躍しました。また、開会前に登壇者にインタビューする機会もあり、皆さんの宇宙にかける情熱も肌で感じることができました。



宇宙講座の開催



串本古座高等学校では、本年度の入学生から「総合的な探究の時間」の中に宇宙に関連した学習をすでに取り入れており、有人宇宙システム株式会社の土田哲氏等による宇宙講座を開催しました。

土田氏は国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟フライトディレクターの経験があり、ISSにおける宇宙飛行士の生活や、コミュニケーションスキルの重要性について、ISSでの実際の映像も見せていただきながら、講演いただきました。

串本古座高等学校に宇宙探究コースを開設



串本古座高等学校には現在3つのコース(グローバル、クリエイティブ、アドバンスト)があり、特にグローバルコースでは、地域の方々の協力をいただきながら、紀南地域の自然・文化などを素材にした学習に県内外の生徒が取り組んできました。こうした特色ある学びをさらに充実・発展させるため、コースを再編成し、令和6年度から新たに宇宙探究コースを開設することとしました。

大学進学に対応する教科・科目の学習に加えて、大学や宇宙関連企業、JAXAなどの研究機関と連携しながら、宇宙に関する科目も展開していきます。例えば、缶サットやロケット、人工衛星をテーマにした実習・課題研究や、ジオパークについての学習や天体観測を通じて宇宙と地球の成り立ちを考える授業などを計画しています。

宇宙探究コースでは、理工系の人材や観光、経済等の分野で宇宙産業に関わる人材など、自らの人生を切り開くため挑戦し続ける生徒の育成を目指します。チャレンジ精神のある生徒を、県内全域からはもちろん、県外からも広く募集しますので、様々な地域から集まった生徒が切磋琢磨できる学校になることを期待しています。

現在、宇宙探究コースの教育課程について、東京大学の中須賀真一教授を座長として、専門的な知見を有する方々からなる「和歌山県宇宙教育検討会議」の助言をいただきながら、魅力的な教育内容になるよう検討を進めています。



「南紀はまゆう支援学校」が 開校します!

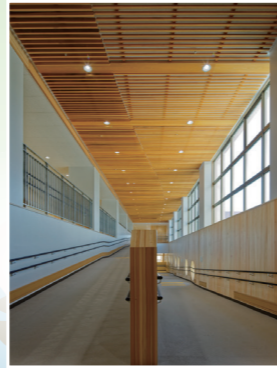
県立南紀支援学校と県立はまゆう支援学校が令和5年4月に統合し、校名を「南紀はまゆう支援学校」として開校することが決定しました。



新しい学校教育目標「いきいきと ともに生きる 心ゆたかにたくましく」には、両校がこれまで大切にしてきた子供たちの「ゆたかな成長」や「ゆたかな心、たくましい力」を育むことへの願いが込められています。

校舎建築工事の一部や屋外運動場整備などは継続して行われますが、すでに完成している学び舎を最大限活用する予定です。

同校では、これまで培ってきた肢体不自由教育、知的障害教育、聴覚障害教育の専門性を共有し、多様な教育的ニーズを必要とする児童生徒に一層充実した教育を提供していきます。



展示・イベント

いずれも休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。
※県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館・県立近代美術館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8690

【特別展】

とびたつとき

池田満寿夫とデモクラートの作家

期 2月4日(土)～4月9日(日)



広島市現代美術館の協力により、マルチタレントとして知られた版画家・池田満寿夫(1934-1997)をキーパーソンとして、池田が交流したデモクラート美術家協会の作家たちの1950年から1960年代後半までの作品と共に、世界を席巻することになる戦後日本の版画を見直します。

いけだますお
池田満寿夫《私の詩人、私の猫》1965
(広島市現代美術館蔵)

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8670

【企画展】

川とともに生きる

～川と人の関係史～

期 3月11日(土)～4月16日(日)



人々は、川から水を引いて作物を育て、川を利用して船で物資を運びました。一方、川の水をめぐって争い、大水(洪水)で命や財産を奪われることもありました。和歌山県の歴史における川と人とのかかわりを、さまざまな作品から紹介します。

ゆうちゆうきかん
熊中奇観
(和歌山県立博物館蔵)

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411
☎073-471-6123

【春期企画展】

岩橋千塚古墳群のはじまり

～花山地区の古墳～

期 3月18日(土)～6月18日(日)

岩橋千塚古墳群は総数900基にもおよぶ古墳が所在し、10地区に分かれる。このうち、花山地区は岩橋千塚古墳群で最も古い4世紀末から5世紀初頭に古墳がつけられ、いわば岩橋千塚古墳群のはじまりを象徴する地区である。本展では、出土した副葬品を通じてはじまりの地、花山地区の古墳の特徴や時期的な変遷について紹介する。



花山6号墳 玉類



花山8号墳 鉄剣

県立自然博物館

海南市船尾370-1
☎073-483-1777

【きよくりに野外博物館】

巨大アンモナイトをさがせ!!

開催日時 3月19日(日) 13:00～16:00(雨天中止)

開催場所 湯浅町栖原

和歌山県はアンモナイトの名産地!白亜紀の海でできた地層から、アンモナイトの化石を発掘するイベントです。過去には直径30cmもの大きなアンモナイトも見発されているので、ひょっとすると巨大なアンモナイトが見つかるかも?

【募集対象】小学生以上一般
(小学生は保護者同伴)

【定員】20名

【申込締切】往復はがきに行事名、参加希望者全員(同伴保護者を含む)の住所・氏名(要ふりがな)・年齢・学年・電話番号をご記入のうえ、お申込みください。なお、応募者多数の場合は抽選で参加者を決定させていただきます。

【申込締切】3月5日(日)必着



過去の開催の様子



「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の 新会期が決定!

2度の延期となっていた「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の新会期が決定しました!

開催期間

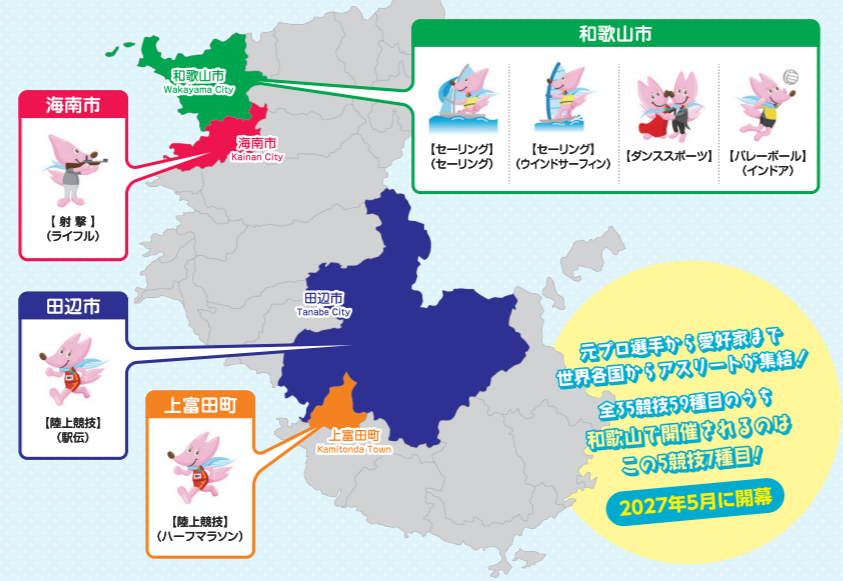
2027年5月14日(金)
5月30日(日) 17日間

概ね30歳以上なら誰でも参加できる、世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスタースゲームズ」。

2027年に開催されるその舞台は…

日本・関西です!!

和歌山県内の開催競技種目



ワールドマスタースゲームズ2021関西 和歌山県実行委員会 SNS、HP! 随時大会情報を発信していきますので、ぜひチェックしてください!

大会マスコット スフラ



和歌山県

教育委員会
教育広報番組

和歌山県教育委員会では、教育の目指す方向性やその時々々の教育課題について、新しいと仕組みや学校・地域の特色ある取り組みなどを紹介するため、テレビ番組「はばたく紀の国～教育は今～」、ラジオ番組「定期便 教育の窓」を製作し、放送しています。また、これまでに放送した番組は和歌山県教育委員会のホームページから視聴できます。

※QRコードを読み取ってご視聴いただけます。 和歌山県 教育広報番組 検索

はばたく紀の国 ～教育は今～

放送予定 テレビ和歌山

9月～2月の 毎月第1・第3日曜日 10:30～10:50

※テレビは全ての番組に手話通訳がつけます。

定期便 教育の窓

放送予定 WBS和歌山放送

4月～3月の 毎月第2・第4火曜日 18:30～18:45

※ラジオ番組は、お持ちのスマートフォン・パソコンのラジオ視聴無料アプリでもご視聴いただけます。

きのくに コミュニティ スクール

vol.12 | 紀美野町

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)とそれを支える既存の「共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

紀美野町では、平成30年度に野上中学校区学校運営協議会、平成31年度に美里中学校区学校運営協議会を設置したことで、町内2校の中学校を中心に、すべての小中学校がコミュニティスクールとなり、それまでの共育コミュニティ事業をさらに発展させながら地域と一体となった学校づくりを進めています。

少子高齢化に伴い、町内の児童生徒数は減少の一途をたどり、令和7年度には、町内にある2つの中学校が町内唯一の中学校、『紀美野中学校』として新しく生まれ変わります。中学校区が町で一つになることで、学校運営協議会の在り方についても議論され、今年度には初めて2つの学校運営協議会が合同で会議を行いました。新しい学校づくりに向けた取組にも、学校運営協議会が大きな力となることで、より一層地域とともにある学校を目指しています。



野上中学校区・美里中学校区
合同学校運営協議会の様子

きのくに 教育めぐり



広川町 教育委員会

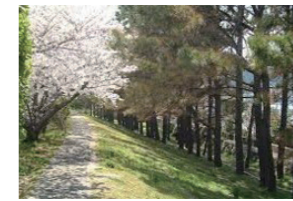


濱口梧陵翁の故郷 広川(広村)は、古くから、西は長崎県五島列島、東は千葉県銚子まで、漁業を中心に開拓・発展してきました。昭和30年4月1日に、広町・南広村・津木村が合併して現在の広川町として発足しました。

message

教育長挨拶

広川町教育委員会教育長
いけだ なおひろ
池田 尚弘



春には桜に彩られる広村堤防

広川町は、「稲むらの火」で有名な津波と復興の記憶が生きる町で、単独で日本遺産に登録されています。濱口梧陵翁達が170年前にこの地に耐久社を開くなど、早くから教育について深い理解と情熱をもった風土があり、人間性豊かで、家庭と郷土を愛し、正しくたくましく行動できる人間の育成を目指しています。また、世界津波の日を軸に、自然災害に対する知識や防災・減災の大切さを世界に向け発信しています。

地域と一体となった防災教育「濱口梧陵翁に学ぶ」



稲むらの火の館でガイドする広小児童

津波防災教育センター「稲むらの火の館」等を活用して、小学校の低学年から中学校まで、系統的に最先端の防災情報や梧陵翁の偉業について学びます。

11月5日「世界津波の日」には、町内すべての小中学校と支援学校、幼稚園・保育園、地域の方が参加して、避難訓練や防災教育を行います。JRの協力により、緊急停止した列車からの避難も体験します。



列車から避難する南広小児童

読書を通じた豊かな言葉の世界

「いつも読みかけの一冊を」

観光・地域交流センター「いなむらの杜」や学校図書館を拠点として、子供たちの読書活動を推進しています。

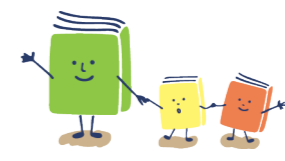
昨年からはじめた「いなむらの杜」主催のポップコンクールでは、町内中学生の力作が展示されました。各学校では司書と先生、図書委員会が協力して、学校図書館を利用した授業やイベントがたくさん実施されています。



いなむらの杜 ポップコンクール



津木小イベント「ビブリオ宇宙旅行」



「読書検定」の説明をする広小児童

地域と学校が協働し、支え合う

美里中学校では、学校と地域の関わりを強くしたいという思いから、「防災」という観点で最も相応しいと考え、平成24年度から総合防災訓練の前身である「避難誘導訓練」を、美里中学校の近隣に住む地域住民、このこども園の園児で始めました。その取組の趣旨に賛同して協力してくれる関係機関や団体、企業等が年を追うごとに増えていき、美里中学校区学校運営協議会も中心的な役割を果たしながら、現在の活動を支えています。

訓練当日の運営は、当初から中学生が中心となって行い、中学生が日頃接することのない世代と関わることで、災害への意識が高まるだけでなく、地域の役に立ち、地域の一員である意識や自信を育む活動となっています。



総合防災訓練の受付



中学生が指導者になった新聞紙スリッパ作り

総合防災訓練

～つながる!ひろがる!ネットワーク!～



令和4年度の総合防災訓練には、約130名の参加者がありました。防災グッズの制作や起震車体験などを行った後、県福祉保健部 野尻孝子技監をお招きし、「新型コロナウイルス感染症との闘いに思う～最近の感染状況と災害対応について～」と題し、講演会を行いました。

令和4年度の総合防災訓練には、約130名の参加者がありました。防災グッズの制作や起震車体験などを行った後、県福祉保健部 野尻孝子技監をお招きし、「新型コロナウイルス感染症との闘いに思う～最近の感染状況と災害対応について～」と題し、講演会を行いました。



野尻孝子技監の講演

～和歌山県教育委員会から 補充講師登録のお知らせ～

和歌山県では、講師登録者を募集しています。学校で勤務してみたい方はぜひご登録ください。

- 募集区分 常勤講師、非常勤講師
- 応募資格 それぞれに必要な資格・免許を有する方
- 応募書類配布 和歌山県教育委員会教職員課のWEBサイト

- 問合せ先 小中学校希望:紀北(有田地方以北)→紀北教育事務所
紀南(日高地方以南)→紀南教育事務所
県立高校・特別支援学校希望(全県)→教職員課

申し込みは上記各所まで応募書類を郵送もしくは持参のこと。

求む!
熱意のある
先生





教育長
みやざき いすみ
宮崎 泉

「すべての子供に豊かな教育を」

令和4年12月文部科学省の調査結果として、通常の学級の中で「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされる児童生徒の割合が、この10年で上がっているとの報告がありました。数値だけでは測りきれないことではありますが、学校生活の中で困難を感じる児童生徒が各学校に一定数在籍し、増加傾向にあることがわかります。全国的にも特別支援学校及び小学校中学校の特別支援学級、それに通常の学級に在籍し通級指導教室を利用する児童生徒が増えてきています。この背景には、障害のある子供に関する理解が深まったこと、それから、医療・福祉の分野での早期発見や、未就学の障害のある子の療育が充実してきたことなどにより、保護者の皆さんの意識が高まり、教育的ニーズに応じた支援を希望するようになってきているためではないかと分析しています。

そもそも、近年ニーズが高まっている特別支援教育とは、障害のある子供の自己実現や社会参加に向けた支援という視点で、子供一人一人の教育的ニーズに応じ、適切な指導及び必要な支援を行う教育のことをいいます。また、発達障害のある子供も含め、障害により特別な支援を必要とする子供が在籍する、全ての学校で行われるもので、障害の有無やその他の個々の違いを認め合い様々な人々が生き生きと活躍で

きる共生社会の形成の基礎となるものです。

これらの障害のある子供たちのための多様な学びの場を充実させるべく、県立特別支援学校では、県内各地域で求められる特別支援教育のセンターとしての役割が重要となっています。障害の特性理解や教育的対応、継続的な研究で学校が培ってきた専門性を活かして、地域の学校で特別支援教育に取り組んでいる先生方の力になれるよう、より一層専門性の向上に努めていくことが求められています。また、ニーズの高まりの中、多様な学びの場の整備とともに、特別支援教育をよく理解し実践できる先生を育てていくことも大事で、注力しているところです。

さらに、特別支援教育を推進する上で何よりも大切なのは、障害があるから特別支援で学ぶのではなく、障害のある子供の特性に合わせて学びの環境を整え、その思いを丁寧に引き出しながら保護者の方の思いと合わせ、適切な支援について合意形成を図っていくことです。そのために、和歌山県では、特別支援教育を必要とする児童生徒一人一人に「つなぎ愛シート(個別的教育支援計画)」を作成しています。これは、個々の教育的ニーズを把握し、関係者や関係機関につなぐためにとっても重要なツールであり、障害のある児童生徒を、皆で支援していくという考えのもとすすめています。

学校は、全ての子供の未来を育む場所であり、共生社会の実現に向けて、特別支援教育は進んでいます。



「きのくに学びの教室」 学び直しができる講座の受講生を随時募集

- 講座** ①よみかき・生活 ②日本語・生活 ③基礎国語 ④基礎数学 ⑤基礎英語
- 場所** きのくに青雲高校(和歌山市)、伊都中央高校(橋本市)、南紀高校(田辺市)、新宮高校(新宮市)
- 対象** 学び直しを希望する社会人(「日本語・生活」は児童生徒含む)
- 定員** 各講座10人程度
- 問い合わせ** 人権教育推進課 ☎073-441-3719 FAX073-425-6450
※申込方法など詳しくは要問合せ



講座の様子



高校生の皆さんへ **奨学金・給付金** 等のお知らせ

和歌山県では、高校生の皆さんが安心して学べるよう、次のような奨学金や給付金の支援制度があります。※各制度には支給要件があります。

安心して 高等学校等で学ぶ ために

- 1 高等学校等就学支援金**
公立高等学校の授業料(私立は授業料の一部)の負担が不要となります。
- 2 高校生等奨学給付金**
教科書費、教材費など授業料以外の教育に必要な費用を給付します。
- 3 修学奨励金(奨学金)**
高等学校等で学ぶための費用を貸与します。(無利子貸与)

安心して 大学等へ進学する ために

- 4 和歌山県大学生等進学支援金**
低所得世帯かつ大学等への進学意欲と能力が高い者に年間60万円を4年間貸与します。(選考検査有り。条件により返還免除有り。)
- 5 修学奨励金(進学助成金)**
大学等に進学するにあたり転居が必要な者に一時金を貸与します。(無利子貸与)
- 6 高等教育の修学支援(授業料等減免・給付型奨学金)**
要件を満たす大学生等に授業料等の減免や奨学金の給付をします。

問い合わせ先

- 1** **公立** 県教育庁総務課 振興班 ☎073-441-3646
- 1** **私立** 県文化学術課学術振興班 ☎073-441-2098
- 2** **公立** 県教育庁生涯学習課奨学班 ☎073-441-3728
- 2** **私立** 県文化学術課学術振興班 ☎073-441-2098
- 3~5** 県教育庁生涯学習課奨学班 ☎073-441-3663
- 6** 文部科学省特設サイト「高等教育の修学支援新制度」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)



公立



私立

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取組を行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。

和歌山県教育委員会

検索



この印刷物は地球環境にやさしい
植物油インキを使用し、ユニバーサルデザインの
考え方で作られています。